

第 2 節 分野別の目標と取り組み

7 地域づくり

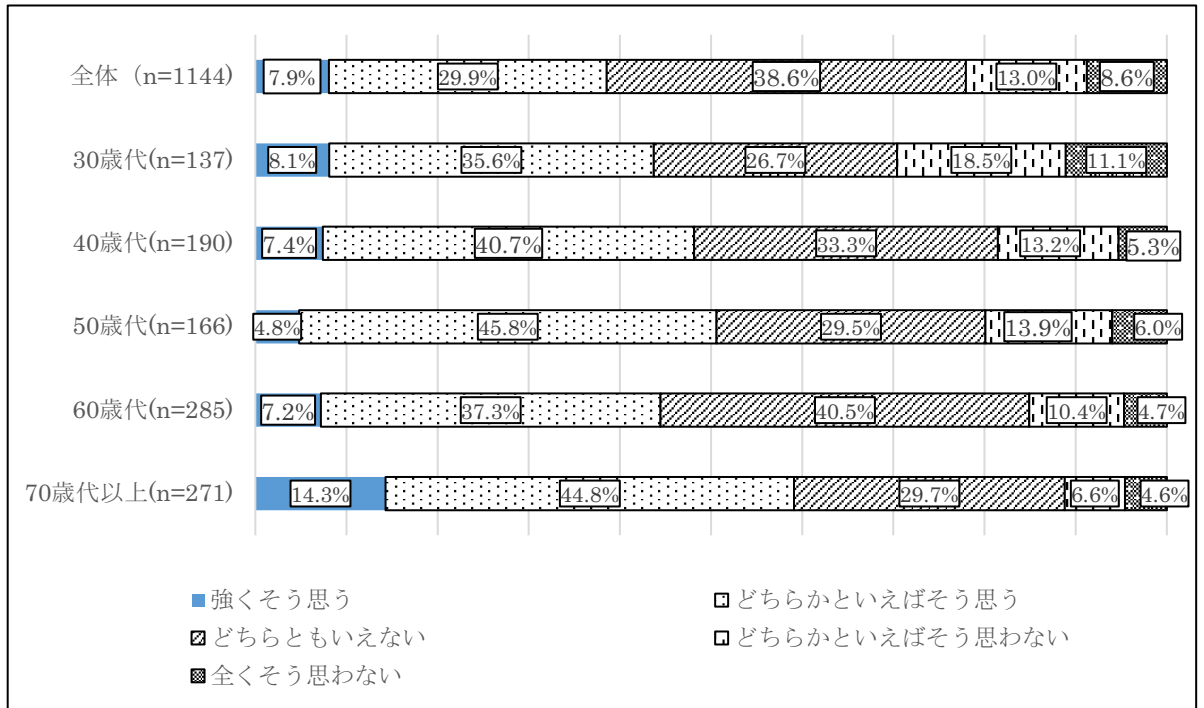
(1) 現状と課題

①地域のつながりに関する状況

市民健康実態調査によると、「居住する人がお互いに助け合っていると思う人」の割合は 37.8%、国の調査と比較すると 18.1 ポイント低い結果でした。(図 1)
 また「居住する地域の人々を信頼できると思う人」の割合は 39.6%、「問題が生じた場合、人々は力を合わせて解決しようとすると思う人」の割合は 52.9%で年代が高いほど高くなる傾向があります。

地域や社会のきずなが機能することで、地域全体が助け合い、健康づくり活動の強化につながることから、地域づくりを意識した健康づくり活動が必要です。

(図 1) お互いに助け合っていると思う人の割合

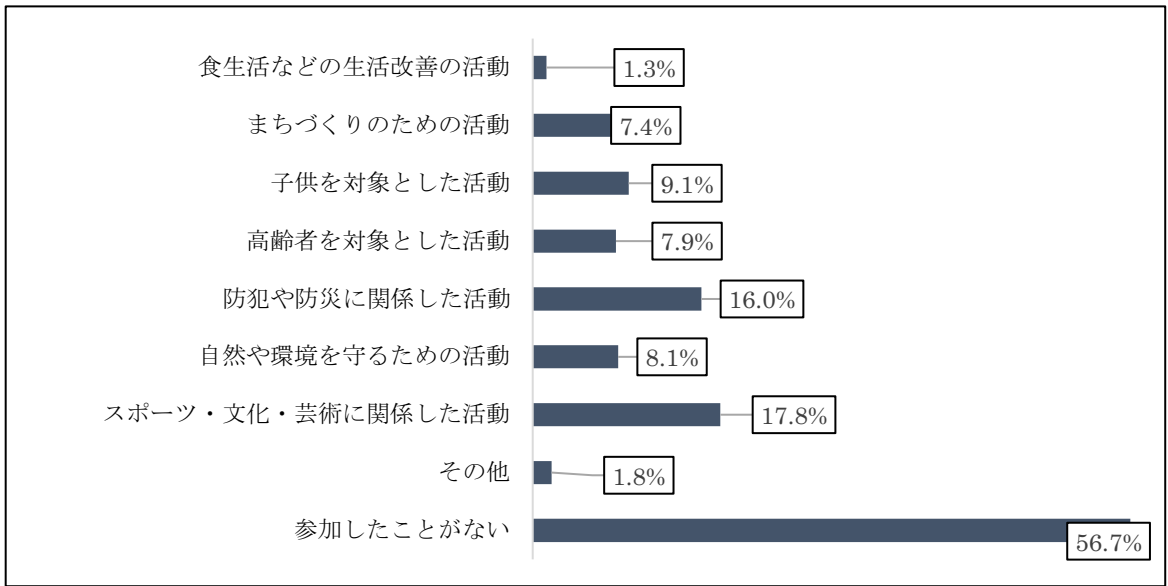


②地域活動に参加したことがある人の割合

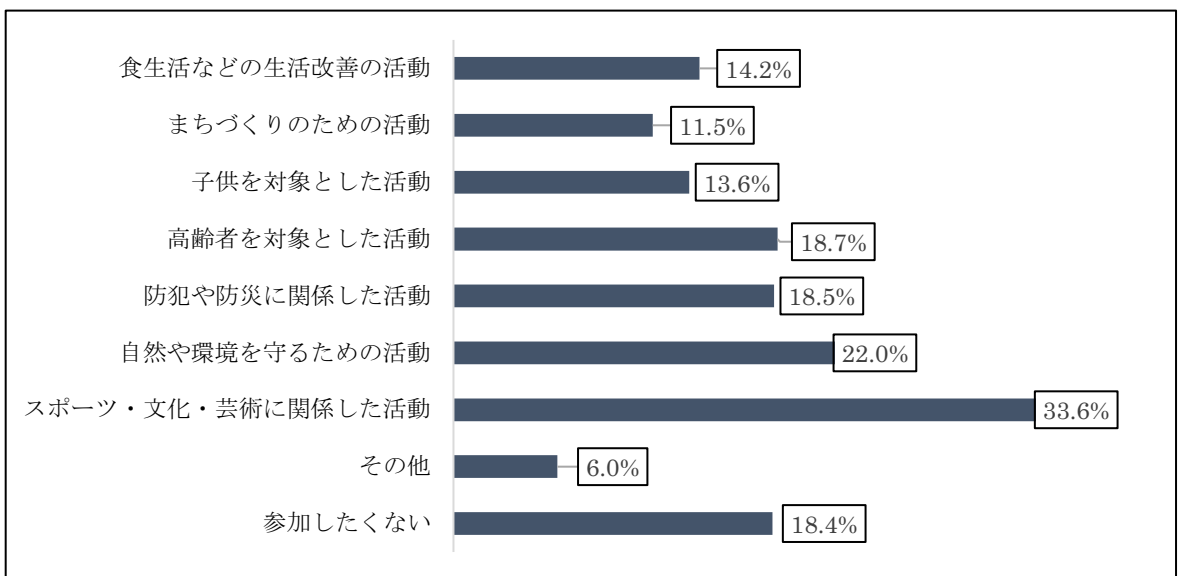
入間市では平成 15 年に健康福祉センターが開設されて以来、市民の主体的な健康づくりに取り組み、市民が身近な地域で楽しく主体的に健康づくり活動ができるよう、健康づくりボランティアの養成や活動支援を行ってきました。

市民健康実態調査によると、この 1 年間に健康づくりやスポーツ、その他の地域活動に参加したことがある人は 43.3%、地域活動に参加したことはないが機会があれば参加したいと思う人の割合は 81.6%でした。(図 2) (図 3)

(図2) 地域活動に参加したことがある人の割合 (複数回答)



(図3) 機会があれば地域活動に参加したいと思う人の割合 (複数回答)



このことから、地域の特性や、多様な生活スタイルに合わせた健康づくり活動を支援することができる環境を整えることが重要です。

(2) 目標

- ① 健康づくりから住民同士のつながりを強化し、ささえあいのまちづくりを目指します。
- ② 健康を支え守るための環境を整備します。

(3) 目標値

①地域のつながりの強化

指標	現状値 (平成29年度)	目標値 (平成35年度)	県	国 (平成27年度)
居住地でお互いに助け合っていると思う人の割合の増加	37.8%	65%	—	55.9%

◎目標値の設定は健康日本21 第二次計画に準じて設定しています。
国：平成27年「国民健康・栄養調査」

②健康を守るための環境整備

指標	現状値 (平成29年度)	目標値 (平成35年度)	県	国 (平成28年度)
地域活動に参加する人の割合の増加	43.3%	現状値以上	—	27.8

◎目標値の設定は健康日本21 第二次計画に準じていますが、国の目標値(35%)より良い結果のため、現状値以上としました。
国：平成28年「国民健康・栄養調査」

(4) 目標の実現に向けた主な取組み

- 各分野の取り組みを、地域特性に合わせてボランティア団体と一緒に多様な健康づくり活動を推進します。
- 健康づくりボランティアを養成し、各地区での活動を支援します。
- 健康づくりに関連したボランティア団体が情報交換を行う機会をつくりボランティア団体の連携強化に努めます。
- 地域で活動する団体を対象に、健康づくりの視点を持っていただくよう講座等を行います。
- 健康づくりに関連したボランティア団体の活動が市民に周知されるよう、「広報いるま」や市公式ホームページなどを通してPRします。